



スーパーGT 第3戦 2022年5月28-29日 鈴鹿サーキット



予選 17th / 決勝 4th

想定外の真夏日となった鈴鹿大会。
前回欠場の吉田選手が復帰、万全の体制を整えて挑むも
選択したタイヤがマッチせず厳しいレースになりました。
決勝は3回のFCY、2回のSCが入る荒れた展開の中、起死回生
を賭けた作戦がピタリとはまり、予選17位から大きくジャンプ
アップ。4位で終えることができました。

たくさんの応援、ありがとうございました。



<予選>

予選はAグループ。
Q1を任せられ、早々にアタック。公式練習よりタイムアップしたものの
0.04秒届かず9位で終了。Q2には進めず、決勝は17番グリッドに
なりました。

<決勝>

300Km、52周。スタートドライバーを担当します。
スタート時点で気温は35℃、路面温度も50℃と真夏日になりました。
レース開始3周目で故障車のためFCY、その後、10周目にSC導入。
12周目にピットがオープンしたため、ここで給油と4本のタイヤ交換
を実施。SC明けは3台をオーバーテイクし順位を上げ、ミニマムの
18周を超えたところで吉田選手に交代。
緻密な計算による作戦でピット時間を短縮することに成功しました。

このピット作戦がピタリとはまり、全車ピットイン後の順位は2位。
17位→2位へと大きくジャンプアップに成功です。その後、再びFCY。
レース再開後、3番手を走る#5はタイヤ無交換ながら、徐々に後ろ
に迫ってきてはいました。30周目に再びFCY、そのタイミングで#16と
#244のクラッシュもありSC導入。43周目にレース再開も、シケイン
でチームメイトのミスがあり5位にポジションダウン。
何とかチェッカーまでに1台抜いて4位となりました。

厳しい展開を予想した中、4位でチェッカーを受け貴重なポイントを取ることができました。

次戦のスーパーGTは8/7-8富士スピードウェイ、450kmです。
2か月のインターバルの中、しっかり準備して強いレースをしたいと
思います。

引き続きご支援のほど、よろしくお願いいたします。

